

弘前市には、いろんな「居場所」があります。

「居場所」。テレビや SNS などで見聞きする機会は増えてきていますが、実際に参加したことがある人は少ないかも知れません。「居場所に自分が参加してもいいのかな。」など、「居場所」と聞いて、色んな感じ方や、思いを抱く人がいると思います。そこで今回は、多世代が交流できる「居場所」にスポットをあて、市内を中心に活動する団体を紹介します！各団体の活動スケジュールは「みらいねっと弘前」のホームページでご確認ください。

問い合わせ先 就労自立支援室（☎ 38-1260）

2025 年開設！



みんなの居場所「とよたん」さんにインタビュー

【対象】どなたでも 【活動日】不定期 【参加料】無料
【活動】みんなの居場所づくり（こども食堂運営、学習支援など）



Q.「居場所」を始めたきっかけは？

A. 弘前に住み続けたいと思える子ども達を増やしたいと思ったことです。

Q.「居場所」を始めるために、一番大変だったことは？

A. 周知宣伝や、ボランティアの募集など大変でしたが、賛同いただける方の支援などで助けられています。

Q.「居場所」をやってみて、よかったですか？

A. はい、やってよかったと思っています。地域の中にいろいろな居場所が増え、子どもも大人も気軽につながれる地域になっていけばいいなと思っています。

「ぎずな cafe」

月1回程度、城東集会所で開催しています。地域の絆を深めるだけでなく、さまざまな企業や団体とコラボするなど、参加者が楽しめる運営も工夫しています。世代や属性の垣根を越えて交流を広めたり、みんなで楽しく共食の場づくりをしています。



岩木みんなの食堂「ひだまり」

月1回、中央公民館岩木館で開催しています。幼児から高齢者まで幅広い世代が参加して、楽しく一緒に食事をしています。みんなで「いただきます」「ごちそうさま」をしています。農閑期に農家さんが手芸品を持ってきてくれたり、皆さんの協力で運営しています。郷土料理などを若い世代も楽しんでいます。



子ども食堂「すこやか」

7月で活動10周年を迎えました。毎月第2(土)に弘前市社会福祉センターで開催しています。子どものみならず、学生や大人の調理ボランティアなど参加者もたくさんいます。クリスマスコンサート、季節の行事も企画しています。地域の方からいただいたお野菜を使った料理をたくさん提供しています。



ひきこもりを相談できる場所もあります。

当事者や家族の方などで、不安や心配を抱えている場合は、就労自立支援室までお気軽にお問い合わせください。



みらいねっと弘前

みらいねっと弘前では、「居場所づくり」のノウハウや資材、食料などの支援をしています。地域活動に興味のある個人やグループ、学生、町会、企業・法人や、居場所づくりに興味はあるけれど何から始めればいいのか分からない人など、どなたでもお気軽にご相談ください。



問い合わせ先
☎ 55-6790 / ✉ mirainethirosaki@yahoo.co.jp

フォトコロ ひろさき

各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします！

9月
4日

SHIROFES.® 2026

弘前公園（下白銀町）市民広場ほか



世界中から集まった参加者のレベルの高いダンスパフォーマンスを見ようと、過去最多となる約8万4,100人が来場しました。

9月
10日

第42回 レッツウォークお山参詣

岩木山



岩木山神社に集団登拝する伝統行事「お山参詣」の体験イベントとして開催。参加者らは五穀豊穡や家内安全を祈願しました。



9月
20日

ひろさきまちなかピクニック 2026

吉野町緑地ゾーンほか



くつろぎひろばでは、テントやハンモック、パラソルなどが設置され、自由気ままにピクニックを楽しんでいました。

9月
20日

2026 カルチャロード& 第25回 よさこい津軽

土手町通りほか



土手町通りがにぎやかな歩行者天国となり、地元グルメの販売や、情熱的な演舞披露などのステージイベントで盛り上がりしました。

10月
2日

生涯骨太クッキング講座

市保健センター（野田2丁目）



保健師・栄養士による講話や、食生活改善推進員による調理実習などが行われ、低栄養・フレイル予防について学んでいました。

10月
2日

弥生いこいの広場 開場式

弥生いこいの広場（百沢字東岩木山）



周辺のクマ出没により閉場していましたが、電気柵設置などのクマ対策が整い、営業を再開。今年度は11月8日(日)までの営業です。

